

平成23年3月期 決算説明資料



株式会社フジトミ



JASDAQ上場：証券コード8740

目次

企業集団の状況	・・・	1
事業所	・・・	2
平成23年3月期決算について／表紙	・・・	3
平成23年3月期決算の概要	・・・	4
事業の種類別セグメントの業績概要	・・・	5
業績概況(連結)	・・・	6
業績概況(個別)	・・・	7
貸借対照表(連結)	・・・	8
貸借対照表(個別)	・・・	9
業績推移(連結)	・・・	10
＜商品先物取引＞営業収益の推移(連結)	・・・	11
＜商品先物取引＞四半期営業収益の推移(連結)	・・・	12
＜生活・環境事業＞四半期営業収益の推移	・・・	13
＜商品先物取引＞受取手数料の市場別内訳(連結)	・・・	14
＜商品先物取引＞自己売買損益の市場別内訳(連結)	・・・	15
平成24年3月期業績予想について／表紙	・・・	16
平成24年3月期業績予想(連結)	・・・	17

本資料は、平成23年3月期の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。

本資料は、3月31日時点でのデータを元に作成しております。

企業集団の状況

当社グループは、当社及び連結子会社2社により構成されております。また、親会社として(株)小林洋行が当社株式の51.79%を保有しております。当社グループの事業内容は次のとおりであります。

(1)投資サービス事業

①商品先物取引業：当社が、商品先物取引法に基づき設置された商品取引所が開設する商品市場に上場されている各種の商品先物取引について、顧客の委託を受けて執行する業務(受託業務)及び自己の計算に基づき執行する業務(自己売買業務)を行っております。

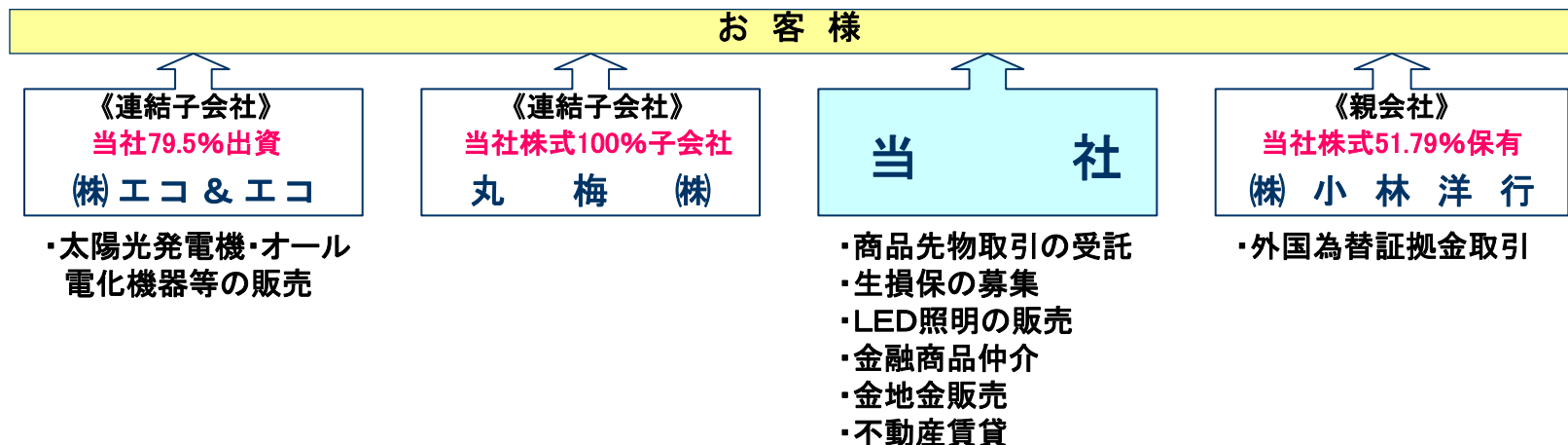
②その他：当社が、金融商品仲介業務及び金地金販売を行っております。

(2)生活・環境事業

①太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業：子会社(株)エコ&エコが、太陽光発電機・オール電化機器等の販売を行っております。

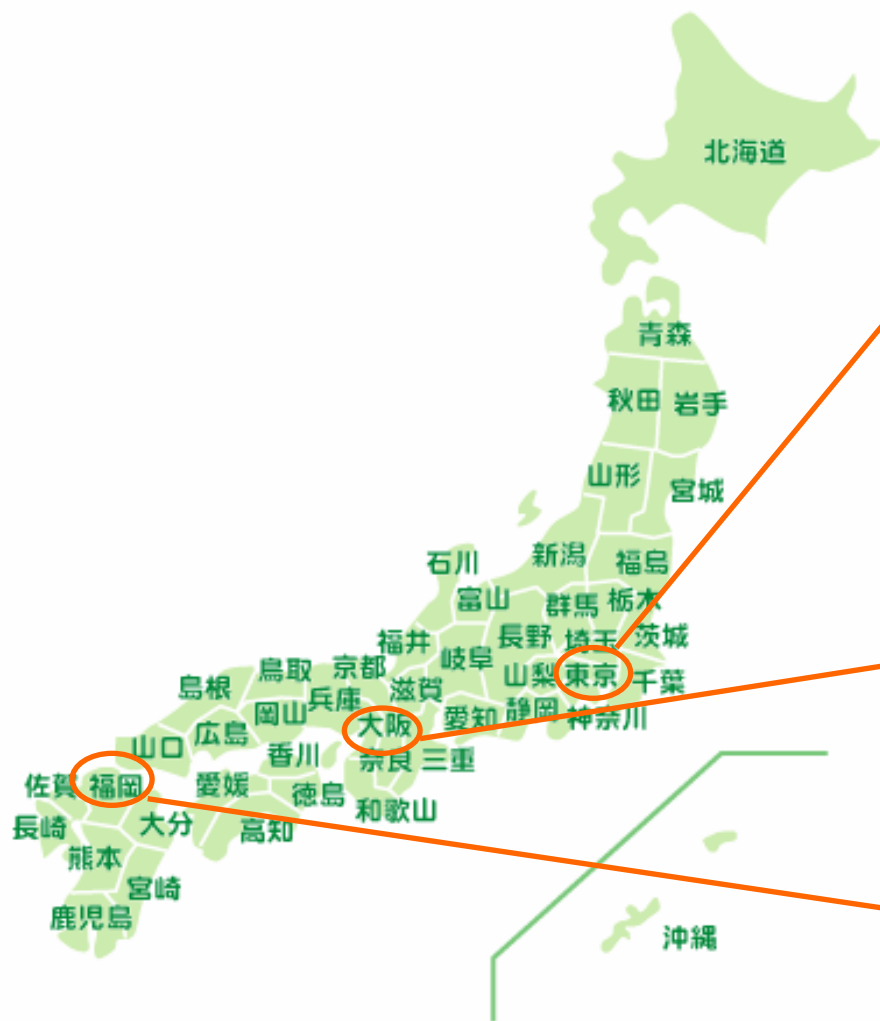
②保険募集業務：当社が、生命保険の募集業務及び損害保険代理店業務を行っております。

③その他：当社が、業務用LED照明の販売及び不動産賃貸を行っております。



(注) 1. 連結子会社丸梅(株)は、平成23年3月末に商品先物取引業を廃止し、平成23年4月25日に解散決議を行っております。
2. 平成22年4月から「LED照明の販売」、平成23年3月から「不動産賃貸」を開始いたしました。

事業所



<東京地区>

本 社：東京都新宿区大久保1-3-17

子 会 社：株式会社エコ&エコ（本社）
東京都新宿区大久保1-3-17

<関西地区>

大阪支店：大阪市中央区南船場3-4-26

<九州地区>

福岡オフィス：福岡市早良区西新5-3-9

子 会 社：株式会社エコ&エコ（福岡支店）
福岡市中央区天神3-3-6

平成23年3月期 決算について



平成23年3月期決算の概要

<業界環境>

わが国の商品先物取引市場は、平成16年の商品取引所法の改正以降、商品取引員に対する勧誘規制の強化や景気低迷等による個人投資家離れなどで、市場の規模縮小が続いており、当連結会計年度の全国商品取引所の出来高合計は3,178万枚(前期比7.2%減、平成16年3月期比79.6%減)となりました。また1月からは、従来の商品取引所法が商品先物取引法に改正され、初期投資金額以上の損失発生を防ぐ仕組みとなっている取引以外の不招請勧誘が禁止されたほか、新たにスパン証拠金制度の導入などが実施されました。

太陽光発電機・オール電化機器等の販売に関しましては、国や自治体の補助制度、余剰電力の買取制度などの普及促進策により市場は拡大しておりますが、家電量販店などの参入で販売競争も激化しております。

<当社グループの営業成績>

このような環境のなか、当社グループは、投資サービス事業については、商品先物取引業務を当社の本社及び大阪支店に集約し効率化を図るため、11月に福岡支店の同業務を、3月に100%子会社である丸梅(株)の同業務を廃止いたしました。また、これと平行し、新たな環境に対応するため、情報サービスの強化やホームトレード部門の強化も進めております。

生活・環境事業については、4月にLED照明販売事業を開始、10月に太陽光発電機・オール電化機器等の販売を行う子会社(株)エコ&エコの福岡支店を新設、3月には保険事業部の福岡オフィスを来店誘致型店舗に移転するなど業務拡大に努めました。

これらの結果、当連結会計年度の連結業績は次の通りとなりました。

営業収益	1,898百万円	(前期比 22.9%増)
営業費用	1,959百万円	(前期比 4.2%減)
営業損失	767百万円	(前期は営業損失 954百万円)
経常損失	745百万円	(前期は経常損失 884百万円)
当期純損失	900百万円	(前期は当期純損失 836百万円)

事業の種類別セグメントの業績概要

<事業の種類別セグメントの業績>

1. 投資サービス事業

当連結会計年度の投資サービス事業の営業収益は943百万円(前期比3.7%増)、営業損失は582百万円となりました。

①商品先物取引受託業務

親会社(株)小林洋行からの顧客移管等(平成22年2月)等により、当連結会計年度の受取手数料は939百万円(前期比4.1%増)となりました。

②商品先物取引自己売買業務

市場の流動性低下や相場環境等により、当連結会計年度の売買損益は△0.6百万円(前期は4百万円)となりました。

③その他

金地金販売による売買損益は2百万円(前期は△1百万円)、金融商品仲介業の受取手数料は0.8百万円(前期は0.3百万円)、情報提供報酬は0.9百万円(前期は3百万円)となりました。

2. 生活・環境事業

当連結会計年度の生活・環境事業の営業収益は955百万円(前期比50.5%増)、営業損失は191百万円となりました。

①太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業

当連結会計年度の業績は売上高905百万円(前期比50.9%増)となりました。売上高の内訳は完成工事高587百万円(前期比6.2%増)、卸販売高317百万円(前期比571.3%増)となっております。

②保険募集業務

受取手数料は41百万円(前期比18.4%増)となりました。

③LED照明の販売

当事業年度から開始したLED照明の販売は、価格競争の激化や独自開発商品の販売開始の遅れにより、売上高は9百万円に留まりました。

業績概況（連結）

（単位：百万円）	H22. 3期	H23. 3期	対前年増減率
営業収益	1,544	1,898	22.9%
内 受取手数料	937	981	4.7%
営業利益	△ 954	△ 767	—
経常利益	△ 884	△ 745	—
当期純利益	△ 836	△ 900	—
一株当たり当期純利益	△ 122.00	△ 134.78	—
一株当たり純資産額	682.89円	556.26円	△ 18.5%
自己資本比率	60.3%	59.9%	△ 0.4%
ROE（自己資本利益率）	△ 16.3%	△ 21.5%	△ 5.2%
ROA（総資産利益率）	△ 11.2%	△ 10.7%	0.5%

業績概況（個別）

（単位：百万円）	H22. 3期	H23. 3期	対前年増減率
営業収益	637	698	9.6%
内 受取手数料	565	686	21.4%
営業利益	△ 682	△ 682	—
経常利益	△ 312	△ 650	—
当期純利益	△ 281	△ 1,288	—
一株当たり当期純利益	△41.09円	△192.84円	—
一株当たり純資産額	750.95円	568.15円	△ 24.3%
自己資本比率	64.5%	62.5%	△ 2.0%
ROE（自己資本利益率）	△ 5.3%	△ 28.9%	△ 23.6%
ROA（総資産利益率）	△ 4.8%	△ 9.3%	△ 4.5%

貸借対照表（連結）

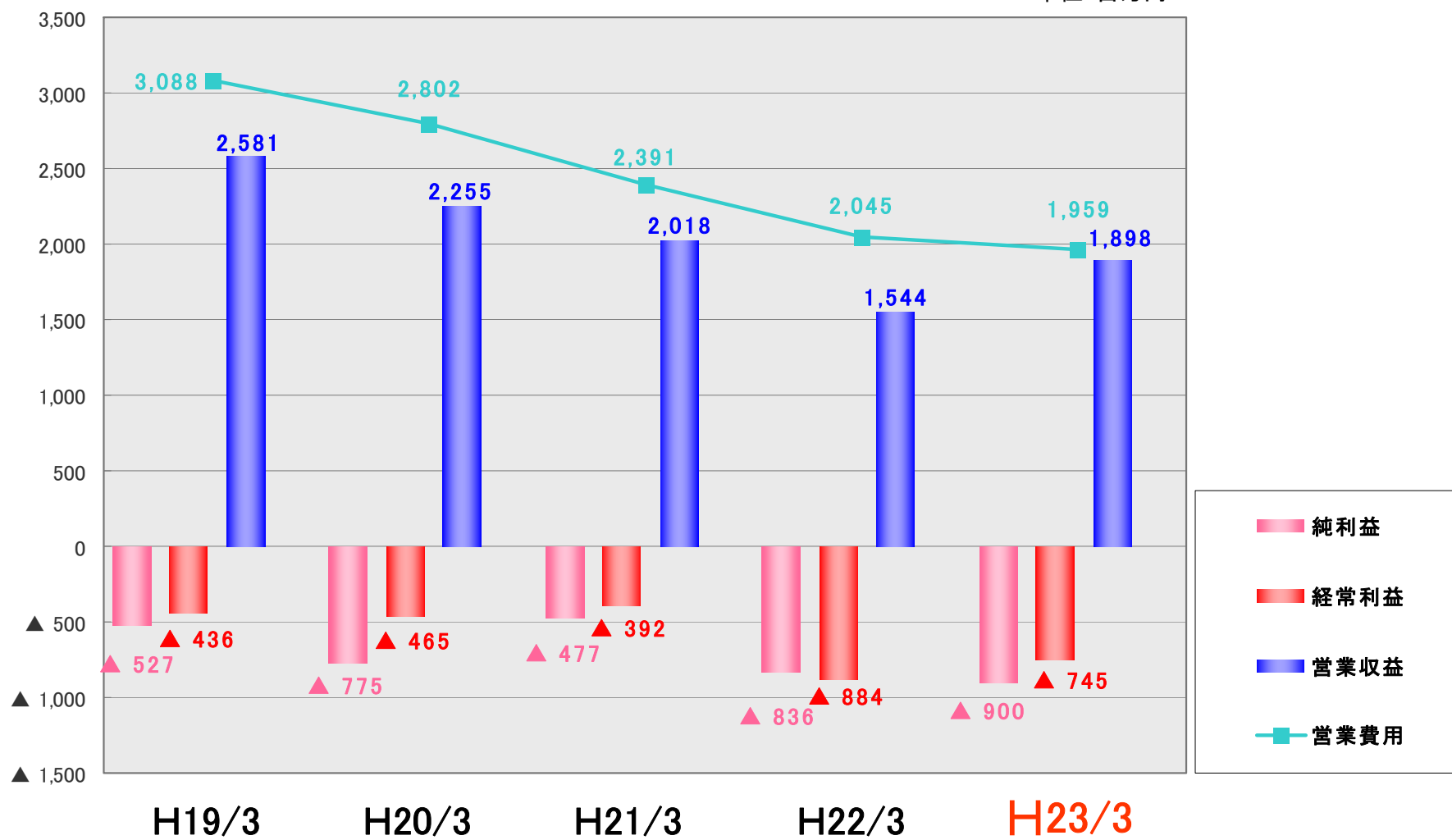
（単位：百万円）	H22. 3期	H23. 3期	対前年増減率
流動資産合計	6,034	4,535	△24.8%
内 現金及び預金	3,216	2,177	△32.3%
固定資産合計	1,732	1,616	△6.7%
内 投資有価証券	371	387	4.3%
内 投資不動産	-	277	-
資産合計	7,767	6,152	△20.8%
流動負債合計	2,529	2,179	△13.8%
内 預り証拠金	2,348	1,973	△16.0%
固定負債合計	504	241	△52.2%
負債合計	3,079	2,464	△20.0%
純資産合計	4,687	3,687	△21.3%
内 その他有価証券評価差額金	69	44	△36.2%

貸借対照表（個別）

（単位：百万円）	H22. 3期	H23. 3期	対前年増減率
流動資産合計	5,501	4,150	△24.6%
内 現金及び預金	2,843	1,873	△34.1%
固定資産合計	2,490	1,876	△24.7%
内 投資有価証券	341	357	4.7%
内 投資不動産	△	279	-
資産合計	7,991	6,027	△24.6%
流動負債合計	2,446	2,061	△15.7%
内 預り証拠金	2,338	1,973	△15.6%
固定負債合計	367	175	△52.3%
負債合計	2,840	2,263	△20.3%
純資産合計	5,151	3,763	△26.9%
内 その他有価証券評価差額金	69	44	△36.2%

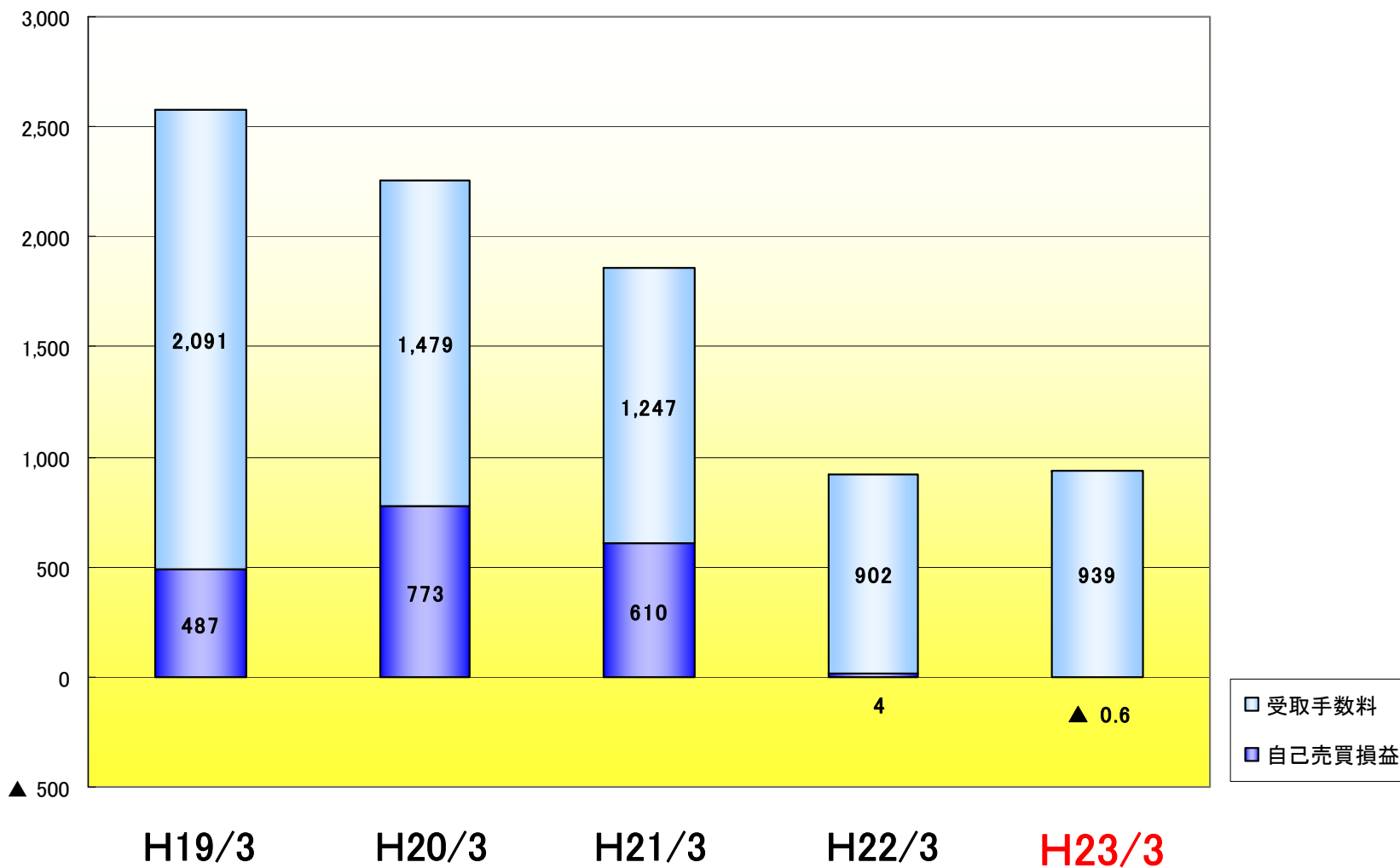
業績推移（連結）

単位：百万円



＜商品先物取引＞営業収益の推移（連結）

単位：百万円

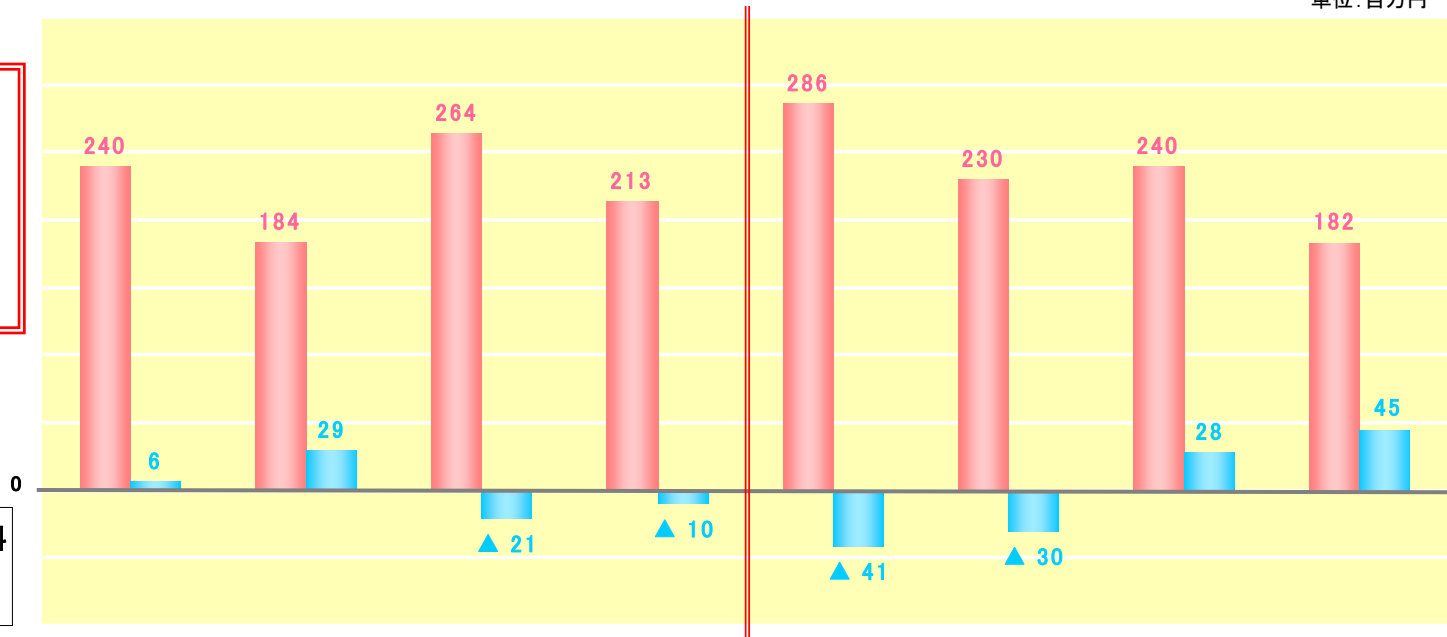


＜商品先物取引＞四半期営業収益の推移（連結）

H22/3-1Q H22/3-2Q H22/3-3Q H22/3-4Q H23/3-1Q H23/3-2Q H23/3-3Q H23/3-4Q

単位：百万円

当社グループの業績は、市場動向に左右されるため、四半期毎など短期では大きく変動いたします。

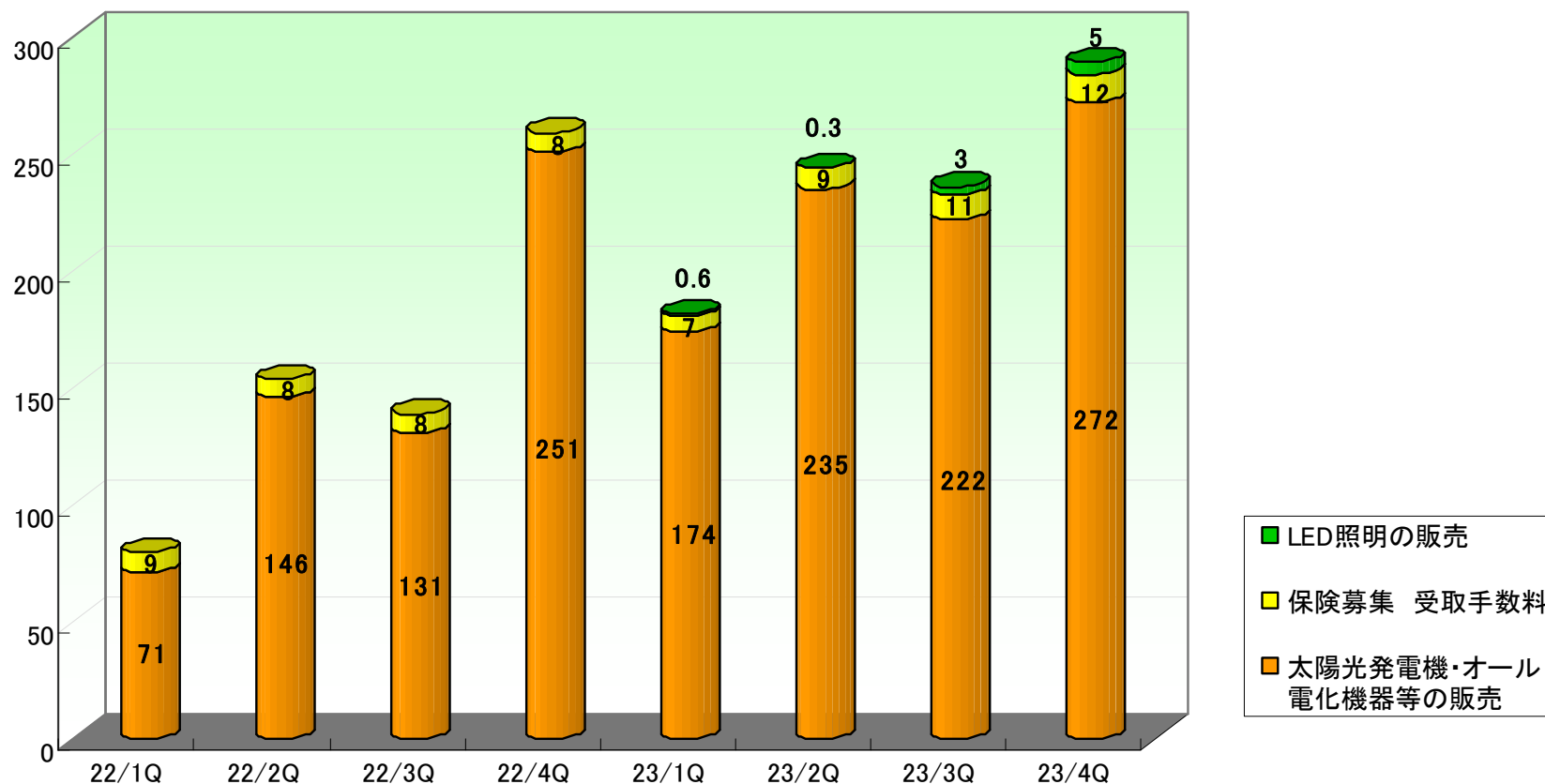


■ 受取手数料
■ 売買損益

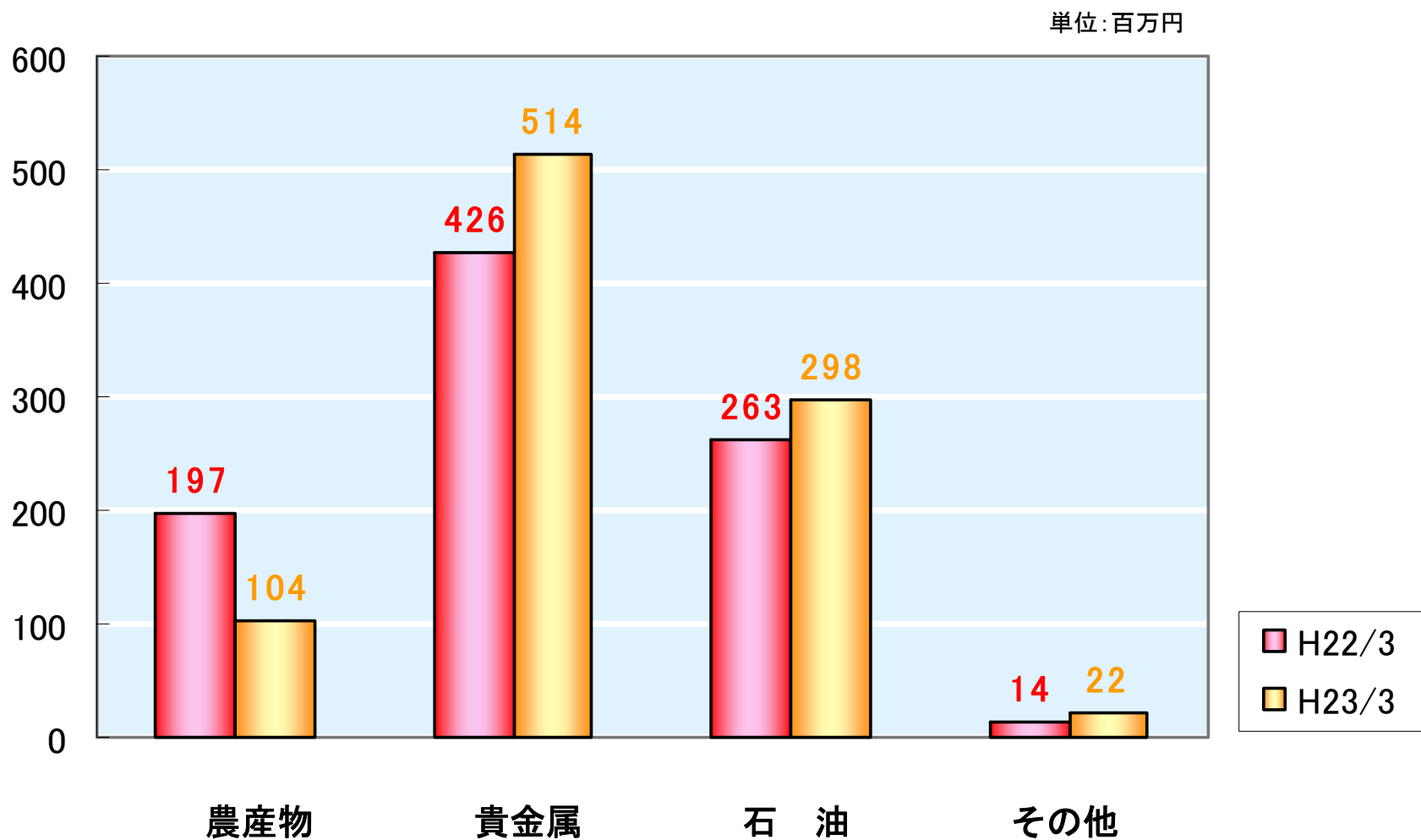
(単位：百万円)	H22/3 1Q	H22/3 2Q	H22/3 3Q	H21/3 4Q	H23/3 1Q	H23/3 2Q	H23/3 3Q	H23/3 4Q
受取手数料	240	184	264	213	286	230	240	182
商品先物取引	240	184	264	213	286	230	240	182
商品ファンド、金融商品仲介業等	—	—	0.1	0.2	0.1	0.3	0.3	0.1
売買損益	6	29	△ 21	△ 10	△ 41	△ 30	28	45
商品先物取引	6	29	△ 21	△ 9	△ 43	△ 30	28	44
商品売買損益	—	—	—	△ 1	2	—	—	0.3

＜生活・環境事業＞四半期営業収益の推移

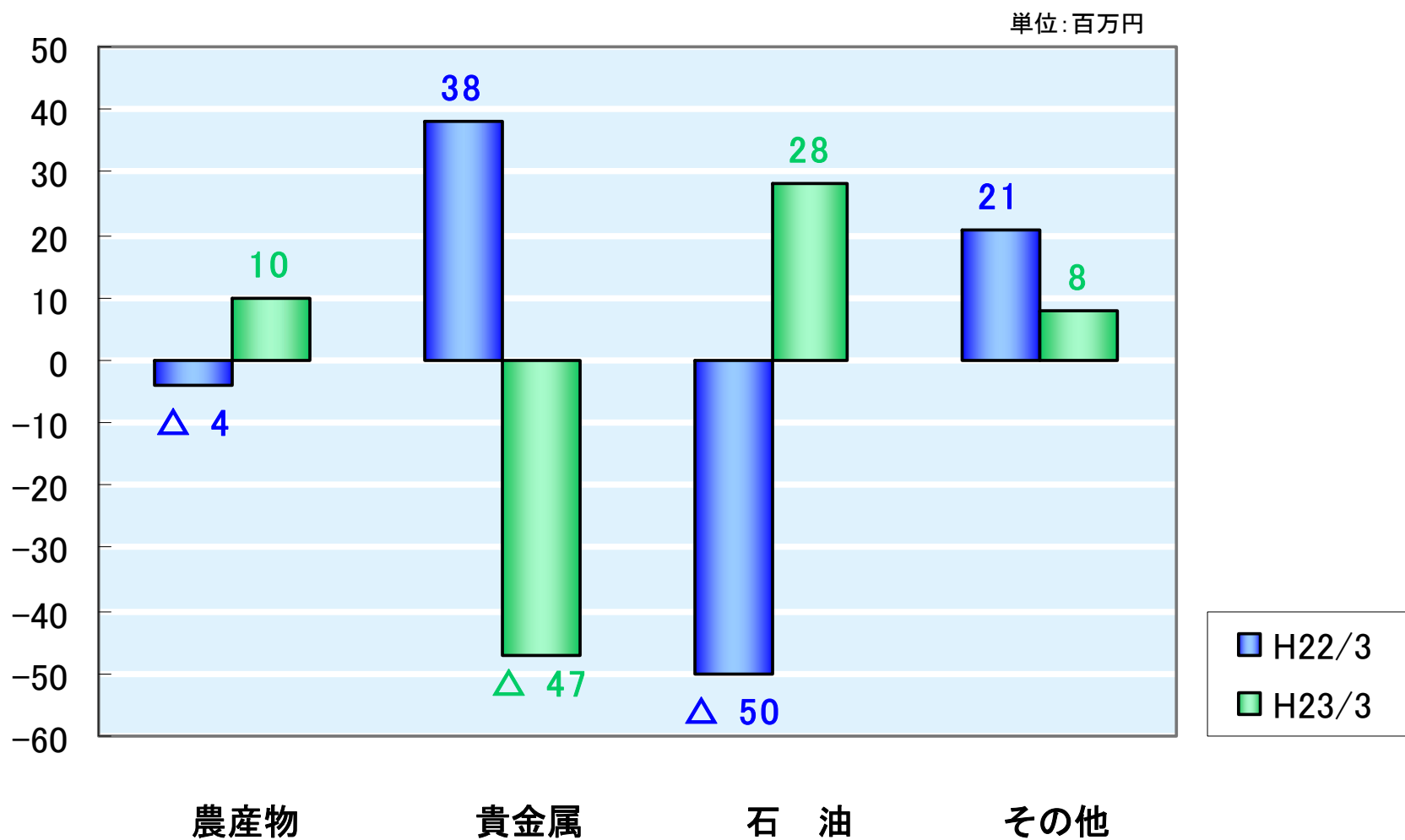
単位:百万円



＜商品先物取引＞受取手数料の市場別内訳(連結)



＜商品先物取引＞自己売買損益の市場別内訳（連結）



平成24年3月期業績予想について



平成24年3月期業績予想(連結)

(単位:百万円)	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	1株当たり 配当金
23年3月期実績	1,898	△ 767	△ 745	△ 900	△134.78円	3円
24年3月期予想	2,300	0	20	0	0.00円	3円

商品先物取引業につきましては、平成23年3月期において子会社を含む商品先物取引業の営業拠点の集約及び人員体制の再構築の実施を終了し、平成24年3月期の営業費用は大幅に削減できる見通しであります。受託業務の受取手数料は営業拠点の集約等により若干の減収が予想されますが、自己売買業務は平成23年3月期の第1及び第2四半期に売買損となったものの、規模を縮小し着実な利益の確保を目指した結果、既に第3第4四半期は売買益となっており、平成24年3月期も相応の売買益を得られるものと想定しております。

太陽光発電機・オール電化機器等の販売につきましては、原発事故による自然エネルギーの見直しなどで、引き続き需要は拡大するものと考えております。昨年10月に新設した福岡支店の営業強化、卸売販売業務の拡大による売上増と、自社施工比率の拡大による利益率の向上を図って参ります。

保険募集業務につきましても、顧客基盤の拡大による収益の向上を見込んでおります。また、LED照明販売につきましては、引き合いが増加しており、小規模ながら収支均衡するものと想定しております。

- (注) 1. 上記の業績予想値は「平成23年3月期決算短信」(平成23年5月12日付)で発表したものであり、修正は行っておりません。
2. 上記予想は発表日現在における入手可能な情報並びに不確定要因に係る仮定に基づくものであります。当社グループの業績は相場動向や経済環境等により変動するため、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
3. 第2四半期連結累計期間(6ヶ月)の業績予想及び個別業績予想の開示は行っておりません。



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 フジトミ

経営企画室

E-mail: keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp